

【総合計画等に関する地域代表者説明会資料に関する意見一覧】

意見募集期間：令和4年1月7日（金）～令和4年1月18日（火）

No.	意見区分	資料 ページ	項目	要約	対応	考え方
1	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	—	進め方について	重要な内容のため、直接丁寧な説明と意見交換を行い、市民の理解を得ることが必要不可欠だ。	その他	計画策定後は、総合計画の概要版を作成するとともに、広報、ホームページ、CATV、SNSに加え、動画等により市民に分かりやすい情報発信と意識の共有に努めてまいりたいと考えております。
2	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	—	計画全体	将来を見据え、いろいろな政策を打ち出すべき。市民に情報を早く流し、意見を集めて推進していくべき。	その他	計画策定後は、総合計画の概要版を作成するとともに、広報、ホームページ、CATV、SNSに加え、動画等により市民に分かりやすい情報発信と意識の共有に努めてまいりたいと考えております。
3	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P2 P3	計画全体	持続可能な北杜市を目指すには、産業の振興、政策資源の重点的投入、抜本的な行政改革が重要です。産業振興は個人に任せるのではなく、市の強力な主導が必要だ。	その他	ご意見は、計画の周知と施策推進のため参考とさせていただきます。
4	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P2	第1章 序論 1-3 まちづくり・計画策定の視点 (1) バックキャスティング	バックキャスティングとフォアキャスティングを併用すべき。現状から進むことも重要。	その他	課題を解決するスタンス（フォアキャスティング）では、大きな飛躍につなげることは難しいため、バックキャスティングを採用し、これまで以上に高い目標を設定し、職員や市民の気概・モチベーションを醸成し、チャレンジする機運を高め、成果につなげていきたいと考えております。
5	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト ①子どもの笑顔が自分の笑顔になるまちづくり	市長公約の子供の数を2倍と学校統合の整合性は。また、子育て支援住宅と学校統合の計画は。	その他	学校防災機能や教育機能の強化、教育の質向上に向けた投資を行い、魅力的な学校を作り上げることで、選ばれる地域を創くり、子どもの数を増やしてまいります。学校統廃合は、子育て支援住宅はもちろん、子育て世代のニーズを把握しながら十分な検討を行い進めてまいります。
6	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP1-1】子育て・教育で選ばれる地域をつくる	学校を統廃合するならば、子ども達が通学しやすいきめ細やかな公共交通の充実を図るべき。	その他	利用者や地域住民等の意見徴収や地域内の公共交通事業者と連携する中で、利用しやすい公共交通を目指します。学校統廃合にはスクールバス等通学の手段を十分検討します。

No.	意見区分	資料 ページ	項目	要約	対応	考え方
7	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP1-1】子育て・教育で選ばれる地域をつくる	子どもの遊び場がないため、各地域に小さな公園を整備すべき。また学校等公共施設をできる限り開放すべき。	○	親子が気軽に集い、交流ができる子育て支援の拠点となる複合施設の設置や公園について検討し、整備します。
8	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP1-2】若い世代に選ばれる地域をつくる	定住促進のため、長坂駅西側のような交通の便が良い場所に入居期間限定の子育て支援住宅を積極的に整備すべき。	○	子育て支援住宅などの市単独住宅の適正な維持管理に努めるとともに市内移住・定住のための住宅用地や物件の情報提供等を実施してまいります。
9	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP2-1】健康を支え、生命を守る体制をつくる	高齢者の地域活動への助成金などの支援を充実すべき。	○	公的なサービスだけでは不足するケアを提供できる地域をつくるため、地域福祉を支える人材の育成と交流の場づくりを推進してまいります。
10	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP2-1】健康を支え、生命を守る体制をつくる	障害者地域支援活動の推進を支援すべき。	○	地域で社会生活を送るうえで必要となる移動やコミュニケーションの支援、居場所づくり、住民理解等を促すための事業を推進してまいります。
11	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP2-1】健康を支え、生命を守る体制をつくる	障害者支援団体の移動手段となる車の確保等を支援すべき。	○	地域で社会生活を送るうえで必要となる移動やコミュニケーションの支援、居場所づくり、住民理解等を促すための事業を推進してまいります。
12	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 リーディングプロジェクト 【LP4-2】北杜のファンをつくり、ともにチャレンジする	「若者によるまちづくりの提案・・・」を「学生、若者による・・・」と小学生～高校生が主体となる取組も含めるべき。	○	児童、生徒、学生も含め若者と捉えており、まちづくりなどに若い世代が参画できる場の提供を推進してまいります。
13	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 部門別計画 1-2 地域ぐるみの教育や保育の実現	1-2-4 「家庭・地域の教育力の強化」については、家庭、地域のあらゆる「サポート」体制の構築が重要なため、「教育力」ではなく「サポート力」に変更すべき。	◎	施策（中）のタイトルを「家庭・地域の子育て力の強化」とし、<地域教育力の向上>から<地域の子育て力の向上>とします。
14	資料1 幸せ実感 北杜 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P3	総合計画 部門別計画 1-5 子育て世代・若者の移住・交流の促進 4-1 地域特性を活かした農林業の振興	空き家や遊休農地の活用について支援すべき。	○	空き家については、情報収集や提供、リノベーションに関する支援の充実を図ってまいります。また、農地については、有効活用するため中核的な担い手に対する育成・支援を行うとともに農地の集約化を促進してまいります。

No.	意見区分	資料ページ	項目	要約	対応	考え方
15	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱1 公共施設保有量の最適化 4-1-1-1 市立図書館	地域から生涯学習の拠点を無くさないように、総合支所機能、児童館、図書館、中央公民館等を再編集約し、地域の拠点を残し、地域に根差した生涯学習事業の展開を望む。	○	市民の満足度、生涯学習の質の向上を目指し、新たな価値創出の拠点としての機能の充実と強化を図るため、再編・集約について検討してまいります。
16	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱1 公共施設保有量の最適化 4-1-1-3 市立保育園	公共施設保有数最適化を目的に保育園の集約には反対。仕事と子育ての両立支援と保育園を遠ざけて統合は矛盾する。教育の質向上のため、中学の統合は理解できるが、保育園は1町1園は残すべき。	△	魅力ある保育園づくりのため、集約化による保育環境の充実と保育ニーズに応じた保育サービスの充実を図り、持続可能な保育園運営を目指します。
17	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱1 公共施設保有量の最適化 4-1-1-3 市立保育園	保育園の数削減に反対。統廃合するとしても感染症対策のためにも大規模の保育園ではなく、80～100人規模が良いのではないかと。	△	魅力ある保育園づくりのため、集約化による保育環境の充実と保育ニーズに応じた保育サービスの充実を図り、持続可能な保育園運営を目指します。
18	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱1 公共施設保有量の最適化 4-1-1-4 市立中学校	「2～4校での統合再編」ではなく「小中学校適正規模に応じた統合再編」にすべき。財政状況がひっ迫する中、統合再編は理解できるが、現在小中学校適正規模等審議会で審議されており、十分な周知、検討期間を設けるべき。地域の実情を組んだ統合とデジタル技術を活用した授業展開など戦略的な統合再編を目指すべき。	△	行政改革推進委員会、小中学校適正規模等審議会両者の答申を踏まえ、子どもたちにとってより良い教育環境を創出するため地域での丁寧な説明を行い、市民の声を聴く中で統合再編を推進してまいります。
19	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱1 公共施設保有量の最適化 4-1-1-4 市立中学校	水平統合を基本に、校舎を新築し、より良い教育環境を創出すべき。合併したにも関わらず、旧町単位のままであり、合併の恩恵を受けていない。少子化による学校規模縮小で、子どもたちの選択の幅が狭くなり、人間関係の固定化を招いている。統合により、教育活動を充実させ、中学生の選択の幅を増やすべき。	○	行政改革推進委員会、小中学校適正規模等審議会両者の答申を踏まえ、子どもたちにとってより良い教育環境を創出するため地域での丁寧な説明を行い、市民の声を聴く中で統合再編を推進してまいります。
20	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱1 公共施設保有量の最適化 4-1-1-4 市立中学校	部活動の選択肢も増えるため、中学校の統合賛成。スクールバスを整備し、2～3校で統合すべき。	○	行政改革推進委員会、小中学校適正規模等審議会両者の答申を踏まえ、子どもたちにとってより良い教育環境を創出するため地域での丁寧な説明を行い、市民の声を聴く中で統合再編を推進してまいります。
21	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱2 歳入の確保・歳出の抑制 4-2-1 事業・サービスの見直しによる人件費の縮減	人件費の縮減について、効率化は理解するが、市民サービスの低下を招かないようにすべき。	○	ICTツールの活用や手続きのデジタル化を促進し、職員をより直接携わらなければならない業務に集中させ、業務の効率化と市民サービスの向上に取り組めます。
22	資料1 幸せ実感 北杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱3 組織体制の適正化 4-3-1 市役所本庁舎の建設と総合支所の見直し	本庁舎建設の前に公共施設の削減など各種改革を進めるべき。ただし、候補地や建設計画の検討は進める必要がある。 総合支所は図書館、中央公民館、児童館などと総合的に集約複合化すべき。	○	本庁舎整備の方向性を市民の共有するため「本庁舎のあり方に関する市民検討会（仮称）」を設置し、位置等を含め検討を進めるとともに総合支所は、市民サービスに直結する窓口業務とし、地域コミュニティの拠点等として複合的な役割を担う「行政センター」的機能への移行を進めてまいります。

No.	意見区分	資料 ページ	項目	要約	対応	考え方
23	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱3 組織体制の適正 化 4-3-2 デジタル時代の変化 への対応	デジタル化については、理解できるような丁寧な説明が必要。マイナンバー カードのメリットを説明すべき。	その他	デジタル活用の推進にあたっては、高齢者をはじめ情報弱者 になりやすい方々が取り残されないよう、デジタルデバインド対 策に取り組み、デジタル技術・サービスに対する不安感の払拭 や使いたくなるようなデジタル技術・サービスの提供などに努 めてまいります。 マイナンバーの普及促進につきましては、
24	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 第4章 行政改革の基本方針	地域委員会と行政区長の設置目的は異なるため、統合すべきではない。	その他	地域委員会については合併からこれまで、市民と行政との懸 け橋役として、本市のまちづくりの一翼を担っていただきました。 一方、新市建設計画の進行管理という地域委員会の最大の設 置目的は既に達成されており、県内すべての合併市においても 地域委員会は廃止されております。 地域委員会の見直しについては、これまで地域委員会が企 画・実施してきた地域行事・イベント等を無くすことが目的で はなく、行政区の果たす役割を踏まえながら市民にとってどの ような形態が望ましいのか、将来にわたって持続可能なものと するために組織の見直しを行うものです。
25	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱4 開かれた行政運 営の推進 4-4-1 審議会の最適化	地域委員会は、地域活性化の役割を果たす組織のため、より活動が活発になる よう役割や活用方法を検討すべき。行政区長会は、自地区の活動で精いっぱい、 地域全体の活動を担うには無理がある。地域活性化のためには行政と一体となっ て自発的に活動する組織が必要だ。	その他	地域委員会については合併からこれまで、市民と行政との懸 け橋役として、本市のまちづくりの一翼を担っていただきました。 一方、新市建設計画の進行管理という地域委員会の最大の設 置目的は既に達成されており、県内すべての合併市においても 地域委員会は廃止されております。 地域委員会の見直しについては、これまで地域委員会が企 画・実施してきた地域行事・イベント等を無くすことが目的で はなく、行政区の果たす役割を踏まえながら市民にとってどの ような形態が望ましいのか、将来にわたって持続可能なものと するために組織の見直しを行うものです。
26	資料1 幸せ実感 北 杜チャレンジプラン (素案) 概要版	P4	新・行革大綱 行革の柱4 開かれた行財政 運営の推進 4-4-2 外郭団体等改革の推 進	外郭団体について、急激な補助金カット、自立は、団体を潰してしまう。丁寧 な行政指導による緩やかな自立支援が必要。	その他	設立の目的、公的関与の必要性、民間によるサービス提供の 可否等を考慮し、自立促進に向けた改革を進めてまいります。